

# 第54期決算説明会資料

## 令和2年9月期

(令和元年10月1日～令和2年9月30日)

令和2年12月4日

# 決算概要

## 1. 上期の活発な建設市場と下期の経済停滞、企業体質の改善

大型再開発工事とインフラ整備工事、災害復旧工事による活発な上期の建設市場

オリンピック・パラリンピックの延期と新型コロナウイルス感染症による下期の経済停滞



### 想定外の状況へ対応できる企業へ

- 大型工事に対応できる営業対応力・技術力・資産
- 従来の営業活動とIT機器による非接触営業の融合
- 企業体質の改善による原価の圧縮と販管費の削減

## 2. 貸与資産の状況

(単位：百万円)

項目	2018年9月期	前期比	2019年9月期	前期比	2020年9月期	前期比
当期購入額（レンタル調達含む）	2,665	91.7%	2,493	93.5%	2,161	86.7%
減価償却費	330	134.7%	499	151.2%	628	125.8%
投下資本（期末保有高）	24,675	102.5%	25,769	104.4%	26,123	101.4%
回収率	23.5%	—	24.1%	—	23.1%	—
稼働率	62.3%	—	64.5%	—	62.2%	—

1. 投下資本（期末保有高）は、当社のレンタル用機械の保有高を取得価格ベースで表したものです。
2. 回収率は、当社の保有するレンタル用機械が1年間にどれだけのレンタル収入を計上したかを表しております。
3. 稼働率は、当社の保有するレンタル用機械が1年間にどれだけ稼働したかを表しております。

# ■ 損益計算書 ■



(単位：百万円)

	2018年9月期			2019年9月期			2020年9月期		
	2017年10月～2018年9月			2018年10月～2019年9月			2019年10月～2020年9月		
	金額	百分率	前期比	金額	百分率	前期比	金額	百分率	前期比
売上高	17,683	100.0%	113.7%	18,819	100.0%	106.4%	18,177	100.0%	96.6%
売上総利益	6,505	36.8%	106.2%	6,714	35.7%	103.2%	6,581	36.2%	98.0%
営業利益	1,546	8.7%	108.7%	1,550	8.2%	100.3%	1,498	8.2%	96.6%
経常利益	1,546	8.7%	107.2%	1,447	7.7%	93.6%	1,448	8.0%	100.1%
税引前当期純利益	1,546	8.7%	105.8%	1,447	7.7%	93.6%	1,469	8.1%	101.6%
法人税等	497	2.8%	105.5%	496	2.6%	99.9%	505	2.8%	101.8%
非支配株主に帰属する当期純利益	59	0.3%	509.9%	42	0.2%	70.3%	20	0.1%	49.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	989	5.6%	101.1%	908	4.8%	91.8%	943	5.2%	103.8%

(主な増減内訳)

(単位：百万円)

(前期との差異) (前期比)

売上高	自社機レンタル収入	△138	97.8%	当初想定していたオリンピック・パラリンピックは延期となったが、コロナの影響で営業活動が制約された。
	他社機レンタル収入	△119	97.5%	自社機のレンタルが減少したため、他社からのレンタル機も減少しました。
	付帯収入	△57	98.0%	レンタル収入が減少したことにより、修理・運賃収入も減少しました。
	販売	26	100.9%	中古建設機械の販売は96%に留まったものの、自社機販売が伸び、微増となりました。
	工事売上	△353	80.7%	関西地区の双葉電気は、101%と伸ばしたものの、東京地区の新光電舎は、73%に留まりました。
	(売上高 計)	△641	96.6%	

売上総利益 レンタル収入・付帯収入・工事売上が減少したことにより原価も減少しました。貸与資産の拡充は下期伸び悩んだものの(軽)商品については伸ばすことができました。また、修理収支の改善が寄与し、粗利益は、前期比98.0%に留まったものの、粗利益率は、35.7%→36.2%に改善しました。

経常利益 オリンピック・パラリンピック対策として事前に取り組んでいたことが功を奏し、販管費は前期比98.4%、営業外損益は雇用調整助成金も含めプラスとなり、経常利益は、前期比100.1%となりました。

## ■ 貸借対照表 ■

(単位：百万円)

	2019年9月期		2020年9月期		比較 増減
	2019年9月末現在		2020年9月末現在		
	金額	構成比	金額	構成比	金額
(資産の部)					
I.流動資産	8,541	40.2%	9,346	42.7%	804
II.固定資産	12,685	59.8%	12,516	57.3%	△169
1.有形固定資産	11,800	55.6%	11,589	53.0%	△210
2.無形固定資産	104	0.5%	99	0.5%	△5
3.投資その他の資産	780	3.7%	826	3.8%	46
資産合計	21,227	100.0%	21,862	100.0%	634

	2019年9月期		2020年9月期		比較 増減
	2019年9月末現在		2020年9月末現在		
	金額	構成比	金額	構成比	金額
(負債の部)					
I.流動負債	6,464	30.5%	6,281	28.7%	△183
II.固定負債	4,706	22.2%	4,962	22.7%	256
負債合計	11,171	52.6%	11,244	51.4%	73
(純資産の部)					
I.株主資本	9,920	46.7%	10,470	47.9%	549
1.資本金	1,167	5.5%	1,167	5.3%	0
2.資本剰余金	1,245	5.9%	923	4.2%	△322
3.利益剰余金	8,126	38.3%	8,776	40.1%	649
4.自己株式	△619	△2.9%	△396	△1.8%	222
II.その他の包括利益累計額	4	0.0%	10	0.0%	6
III.新株予約権	10	0.0%	10	0.0%	0
IV.非支配株主持分	120	0.6%	126	0.6%	5
純資産合計	10,056	47.4%	10,617	48.6%	561
負債・純資産合計	21,227	100.0%	21,862	100.0%	634
有利子負債	4,208	19.8%	4,029	18.4%	△179
自己資本比率		46.8%	→	47.9%	
総資産回転率		0.93回	→	0.84回	

(単位：百万円)

(主な増減内訳)

資産	現金・預金の増加	1,253	利益増に伴い回収が増えました。
	売上債権の減少	△643	下期の売上高減少により債権残高が減少しました。
	貸与資産の減少	△1	引き続き貸与資産の拡充を進めましたが、減価償却費の範囲内におさまり、微減となりました。
負債	仕入債務の減少	△173	下期の売上高減少により原価も減少しました。
	有利子負債の減少	△179	社債・借入金(1,600)の調達を行い、既存の社債償還・借入返済、設備投資資金に充当しました。
	リース債務の増加	96	貸与資産のリース調達に伴い、増加しました。

## ■ キャッシュフロー計算書 ■



(単位：百万円)

	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期
	2017年10月～2018年9月	2018年10月～2019年9月	2019年10月～2020年9月
	金額	金額	金額
営業活動による キャッシュフロー	1,145	923	2,247
投資活動による キャッシュフロー	△ 604	△ 1,885	△ 313
財務活動による キャッシュフロー	△ 387	678	△ 680
現金・預金残高	2,455	2,172	3,425

### (当期の状況)

営業活動CF 貸与資産の取得、仕入債務の減少、法人税等の納付はありましたが、当期純利益、減価償却費増、売上債権の減少により資金増となりました。

投資活動CF 鉄道九州新築工事等社用設備取得による支出により資金減となりました。

財務活動CF 社債発行・借入金実行しましたが、有利子負債の返済、配当金支払に加え、自己株式取得による支出により資金減となりました。

## ■ 売上種別構成比 ■



### ■54期実績のポイント

- ・プロジェクト工事および災害復旧工事による土木売上の増加
- ・建築売上は大型再開発工事の竣工つづくもリニューアル工事の増加により減少幅圧縮
- ・海外市場停滞による中古建機販売の減速

種 別	53期（2019年9月期）	
	売上高（百万円）	売上構成比
建 築	4,569	24.3%
土 木	4,066	21.6%
鉄 道	3,738	19.9%
プ ラ ント	2,368	12.6%
設 備	968	5.2%
中古建機販売	815	4.3%
イ ベ ント	555	2.9%
一 般 産 業	58	0.3%
道 路	41	0.2%
そ の 他	1,636	8.7%
合 計	18,819	100.0%

種 別	54期（2020年9月期）	
	売上高（百万円）	売上構成比
建 築	4,398	24.2%
土 木	4,250	23.4%
鉄 道	3,587	19.7%
プ ラ ント	2,357	13.0%
設 備	1,030	5.7%
中古建機販売	603	3.3%
イ ベ ント	519	2.8%
一 般 産 業	66	0.4%
道 路	31	0.2%
そ の 他	1,331	7.3%
合 計	18,177	100.0%

# マンパワー経営



## ■ 「マンパワー経営」① ■

## ● 市場要因

- オリンピックの延期、規模縮小
- コロナによる経済変質
- 建設作業員の減少
- デジタル化の加速
- 気象変動等による災害の増加

## ● 社会的要因

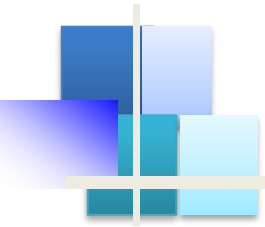
- 働き方改革
- 生活の変化



ピンチをチャンスへ



マンパワー経営



■ 「マンパワー経営」② ■

# チャレンジ③

1: 「人財育成」への挑戦

2: 「風土革新」への挑戦

3: 「第二の柱構築」への挑戦

## ■ 建機レンタル会社 参考指標 ■

### マンパワーおよび売上高経常利益率総合ランキング

株式市場名	決算月	会社名	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	従業員数(名)	事業所数 (ヶ所)	マンパワー 売上高 (百万円)	マンパワー 売上 順位	マンパワー 経常利益 (百万円)	マンパワー 経常利益 順位	売上高 経常 利益率	売上高 経常利 益率順 位	順位 ポイント 合計	総合順 位
東証一部	2019年 10月	(株) カ ナ モ ト	121,965	12,451	1,939	203	62.9	1	6.42	1	10.2%	2	4	1
東証一部	2020年 9月	西尾レントオール(株)	93,675	9,145	1,965	189	47.6	5	4.65	2	9.7%	3	10	2
未上場	2019年 10月	ユ ナ イ ト (株)	23,340	1,773	387	48	60.3	2	4.58	3	7.5%	6	11	3
上場廃止	2019年 12月	(株) 共 成 レ ン テ ム	25,741	3,009	670	92	38.4	9	4.49	4	11.6%	1	14	4
未上場	2020年 3月	(株) レンタルのニッケン	102,165	9,540	2,164	266	47.2	6	4.40	5	9.3%	4	15	5
未上場	2020年 2月	(株) キ ナ ン	23,772	1,472	423	48	56.1	3	3.47	6	6.1%	8	17	6
未上場	2019年 12月	(株) ア ク テ ィ オ	196,847	13,817	4,066	393	48.4	4	3.39	7	7.0%	7	18	7
ジャスダック	2020年 9月	サ コ ス (株)	16,702	1,319	413	52	40.4	7	3.19	8	7.8%	5	20	8
未上場	2020年 5月	(株) レ ン ト	36,278	2,047	1,011	78	35.8	10	2.02	9	5.6%	9	28	9
未上場	2020年 5月	太陽建機レンタル(株)	89,861	3,225	2,304	123	39.0	8	1.39	11	3.5%	11	30	10
ジャスダック	2019年 12月	(株) ニッパンレンタル	8,071	337	235	44	34.3	11	1.43	10	4.1%	10	31	11

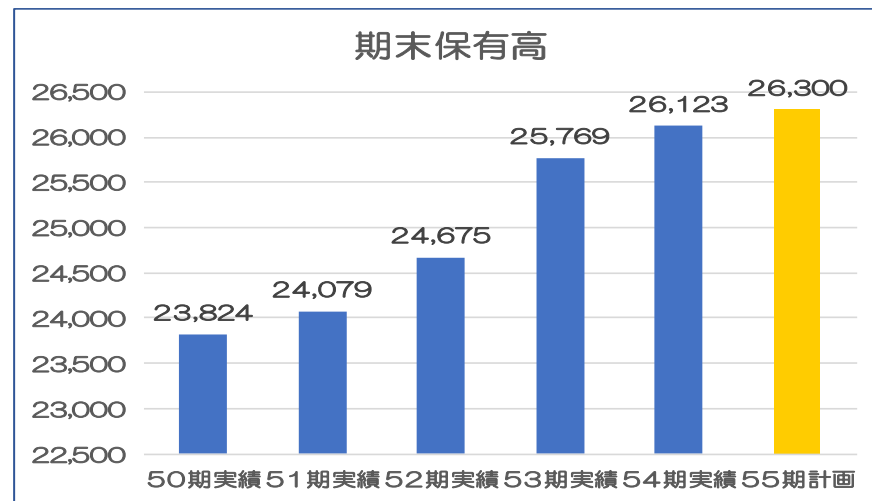
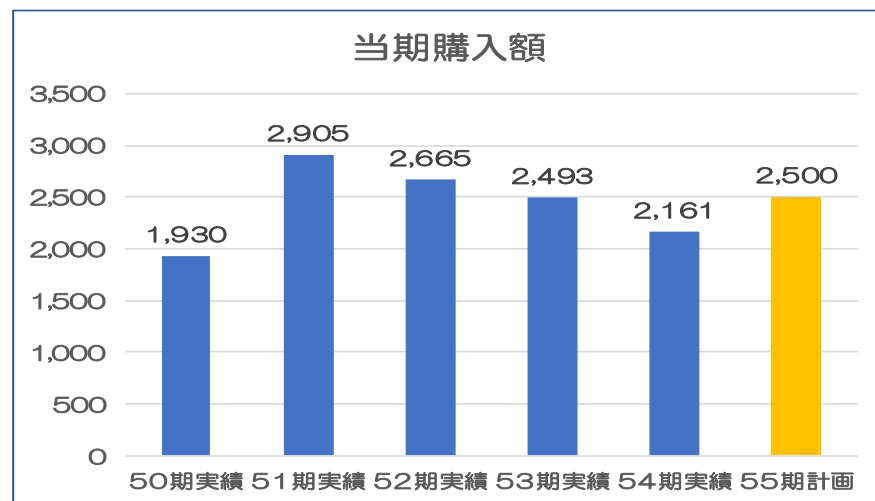
※各社については決算短信もしくは各種調査資料により推計した数値です。

※総合順位は、「マンパワー売上」「マンパワー経常利益」「売上高経常利益率」の順位を合計し、その値の小さい順に並べています。

## ■ レンタル資産の推移 ■

(単位：百万円)

	50期実績 (H28年9月期)	51期実績 (H29年9月期)	52期実績 (H30年9月期)	53期実績 (R1年9月期)	54期実績 (R2年9月期)	55期計画 (R3年9月期)
当期購入額 (レンタル調達含む)	1,930	2,905	2,665	2,493	2,161	2,500
期末保有高	23,824	24,079	24,675	25,769	26,123	26,300



	52期	53期	54期
回収率	23.5%	24.1%	23.1%
	0.3%	0.6%	-1.0%
稼働率	62.3%	64.5%	62.2%
	0.8%	2.2%	-2.3%

54期下期 (R2年4月) よりコロナの影響と予想以上の首都圏のマーケット縮小もあり、多少前期よりダウンしたが、ほぼ予想の購入・期末残高となった。55期は更に基幹データとSFAデータを基にBIで稼働傾向を予測、精度向上を目指し、低働低回収機、高稼働高回収機の適正化を図る。


# ■ SNP計画 ■

## 社内生産性向上の取組について

目標：市場変動に対する耐久力の向上  
 方法：トヨタ生産方式に基づいた生産性改善

## 原価低減・生産性向上運動

活動の開始と主な日程

47期	48	49	50	51	52	53	54	55
OJTソリューションズ社	社内SNP立上げ				SNPによる改善展開			
トヨタ生産方式基礎教育		(SNP：サコスニュープロダクト)		電子整備要領書		修理D/B・故障解析D/B		
				トヨタ自動車さんでのリーダー研修会 (31名)		現場運営管理研修		
*OJTソリューションズ社 (トヨタ自動車、リクルート社会弁会社)								

### 人創り

やらされる⇒やっていこう  
 気持ちの変化  
 手法が人に染み付いてきた

55期は更に10%  
 ダウンにチャレンジ

成果 原価低減



## デジタルとリアル融合で新たなサービス提供を



■ DX推進サービス ■

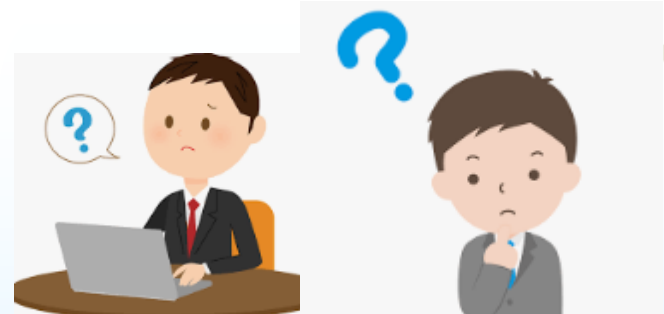
# マッチング・サポート・共同開発

お客様



- エスアイヤー・開発会社
- どう選定すればいいのか
  - どう伝えればよいか
  - 理解してもらえない
  - 時間がかかる

エスアイヤー



建設業界や現場を知らない

マッチング



一緒に創ります

## ■ DX推進サービス ■

省力化のために、多額の費用を投じシステムを自社開発したものの



- 運用、普及がうまくできない。
- 維持管理負荷、コストがかさむ。
- ブラッシュアップできない。
- 処分に困る。

SACOS



- 運用、普及をサポート致します。
- 維持管理をサポート致します。
- ブラッシュアップをサポートします。
- シェア、外販をお手伝い致します。



## ■ DX推進サービス ■

## サコスカスタマースタッフ

関わらせて頂いた、システムのオペレーション説明や現場での定着や活用、拡販の推進をカスタマースタッフが、お手伝い致します。



機械管理のプロが現場のDX推進に積極的に協力するサービスメニューです。

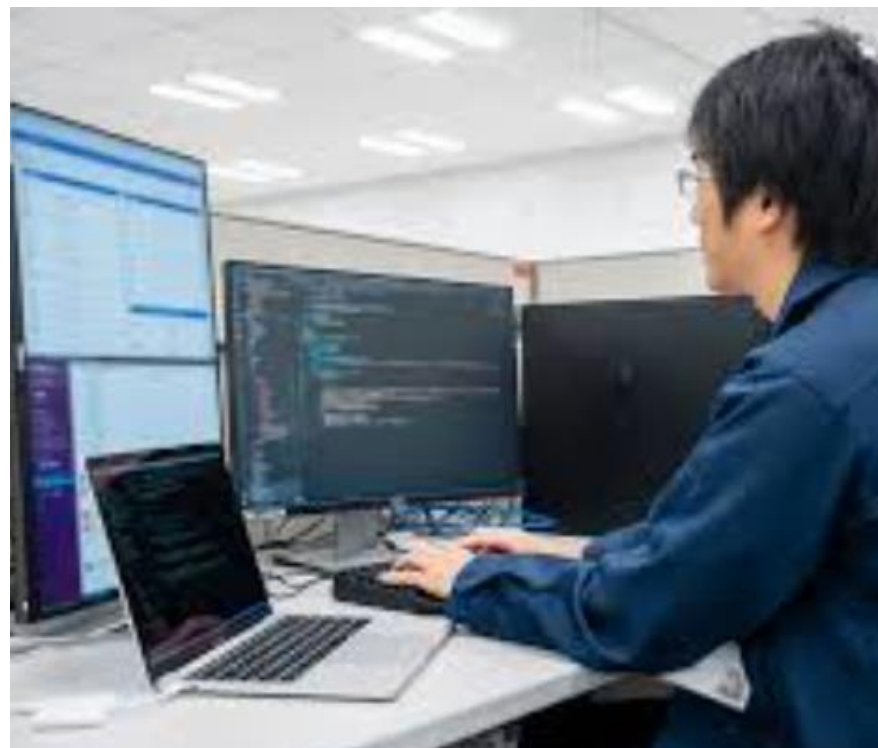
■ DX推進サービス ■

物管理（MMS）と人管理（CCS）で現場をサポート致します

認証システム

連携システム

顔認証	キャリアアップシステム
携帯電話	検温システム
ICカード	機械管理システム
カメレオンコード	図面管理
ARマーカ	位置管理
QRバーコード	<b>カスタマイズ</b>
バーコード	貸与品管理
その他認証技術	車両入退管理



お客様の用途に合わせて機能選択やカスタマイズが可能です

## サコス アプリサービスを開始



- お客様の安心、利便性向上のため**  
にサービスラインナップを増やしてまいります。
- 修理、トラブル相談通話チャットサービス
  - 納品、引取伝票照会、出力サービス
  - WEB発注サービス
  - 点検票照会、出力サービス
  - 修理見積照会、出力サービス

## テーマ

お客様の妄想を	:	Delusion
的確に構想化し	:	Concept
迅速に実現する	:	Realization
共有を前提とし	:	Share
共通化を目指す	:	Common

シェア・リユースを促進し、お客様の負担を最小限に抑える

## 省力化システム構築支援サービスを開始

システムソリューション部門のシステムエンジニアが現場が必要とする省力化システムの構築をお手伝いします。

単独・共同開発のお手伝い

開発システムの保守

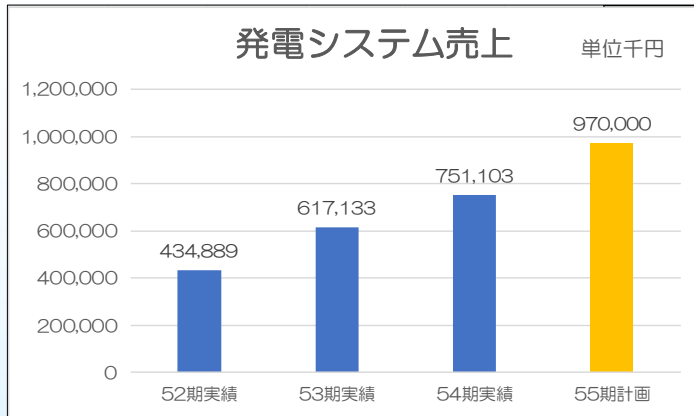
開発システムの普及活動支援

開発システムの拡販

システムベンダーとは違い、建設業界を主戦場とするスタッフが、お客様の困ったのを的確に汲み取り解決するためのシステムを具現化致します。

## ■ 第二の柱構築① 発電システム事業 ■

### 非常用発電機負荷試験事業を拡大



非常用発電機



出力不足

業務提携企業



本間電機株式会社

株式会社シンコーテック

KODENSHA 株式会社新光電舎

双葉電気株式会社

サーバー



ダウン

生命維持装置



停止

エレベーター



作動しない

消化設備



作動しない

## ■第二の柱構築② BtoC事業■



つばさパーキング株式会社

2020年7月エイビス・バジェットレンタカー羽田空港店オープン



コロナの収束予測である2024年迄に  
国内に3店舗の出店を計画

レンタル機械センターとの併設、パーキング事業との協業により全リソースを完全なかたちでシェア運営することで経費の最小化を実現し高い収益確保致します。

**1店舗保有車両台数200台年商3億円を予定**

## ■ 投資政策 ■

## 拠点のリニューアル

- 生産性と効率性の向上
- 従業員満足度の向上

## 親和性を重視したM&A投資

- 自動車整備事業、電気工事業  
前向きに検討



## ■ 当社基本データ ■



商号：サコス株式会社 (SACOS CORPORATION)  
本社所在地：〒141-0022 東京都品川区東五反田4-5-3  
設立：昭和42年9月8日 (西暦1967年)  
資本金：1,167,551,500円(2020年9月30日現在)  
発行済株式総数：42,866,681株(2020年9月30日現在)  
主な事業内容：  
1.機械・機器のレンタル  
2.機械・機器等の販売

役員：	取締役会長	西尾 公志 (ニシオ マサシ)
	代表取締役社長	瀬尾 伸一 (セオ シンイチ)
	常務取締役	石川 忠 (イシカワ タダシ)
	取締役	夏目 正治 (ナツメ マサハル)
	取締役	外村 圭弘 (トノムラ ヨシヒロ)
	社外取締役 (独立役員)	一樂 毅 (イチラク タケシ)
	社外取締役 (独立役員)	谷口 英武 (タニグチ ヒデタケ)
	社外取締役 (独立役員)	日野 英則 (ヒノ ヒデノリ)
	監査役	岡村 克昭 (オカムラ カツアキ)
	社外監査役 (独立役員)	古田 茂 (フルタ シゲル)
	社外監査役 (独立役員)	荒牧 知子 (アラマキ トモコ)